

令和2年度業務実績に関する評価結果に係る対応について

評価結果	対 応
<p><b>No.3 教育（研究科志願者向けの広報）</b>                      研究科の研究内容等を記載した学生募集要項をホームページに掲載するとともに、関連医療機関に募集要項及びポスターを配布する等、臨床研修医や診療医へのPRを行ったが、研究科の収容人数充足率について、医学研究科修士課程は0.45となり、目標に達しなかった。</p>	<p>（令和3年度実績 医学研究科修士課程：0.55）</p>
<p><b>No.26 附属病院（理学療法士、作業療法士への研修等）</b>                      「理学療法士・作業療法士研修センター」において、医系総合大学の教育・研究を基盤とした附属病院の研修環境を活かし、研修療法士の臨床経験や目的に応じた研修プログラムを実施したが、理学療法士及び作業療法士の受入研修生数について、辞退者が生じたことにより、実績は4名となり、目標に達しなかった。</p>	<p>（令和3年度実績 受入研修生数：5名）</p>
<p><b>No.27 附属病院（病院経営改善に向けた不断の取組）</b>                      診療科ごとの稼働状況を踏まえた病棟編成を行い、引き続き病床利用率の向上・収益の確保に取り組んだほか、低価格薬品群の導入を促進するなど、効果的、効率的な医薬材料費の執行に努めたが、高度医療の提供に伴う高額医薬品の使用量増加などにより、診療収入に対する医薬材料費の割合は45.4%となり、目標に達しなかった。</p>	<p>・令和3年度の取組                      コロナ禍で昨年度以上に厳しい病棟運営となる中、在院日数の短縮化などにより稼働収入は前年比増となった。また、実勢価格を把握した上での価格交渉や低価格薬品群の導入を進めるなど、効率的、効果的な医薬材料費の執行に努めた。                      ・令和4年度は、経営改善方針を着実に推進するなど、改善に向けた取組を実施することとし、年度計画に反映した。</p>
<p><b>No.44 業務運営の改善及び効率化（女性職員の活躍推進に向けた取組）</b>                      「札幌医科大学における女性職員の活躍推進に関する一般事業主行動計画」に基づき、役付職員への登用を見据えた人材育成や、家庭と仕事の両立を支援する職場環境づくりを推進したが、管理職に占める女性の割合は、21.6%であり、目標に達しなかった。                      また、第2期の一般事業主行動計画について、年度内の策定に至らなかった。（令和3年6月策定済）</p>	<p>（令和3年度実績 管理職に占める女性の割合：23.3%）</p>
<p><b>No.46 財務内容の改善（外部研究資金等の確保）</b>                      科学研究費助成事業申請書作成レクチャー及び申請書作成レビューを実施し、採択率の向上を図るとともに、科研費補助金申請数の増加に繋げる取組を行ったが、科学研究費補助金の申請数について、年平均284件となり、目標に達しなかった。</p>	<p>・令和3年度の取組                      科研費申請書作成レクチャー及びレビュー等、申請書採択率向上に向けた取組を引き続き実施するとともに、インターネット納付による寄附受入など、自己収入確保のための取組を進めた。                      ・令和4年度は、外部資金獲得促進委員会において、研究者に対し助成金への応募を促進するなど、改善に向けた取組を実施することとし、年度計画に反映した。</p>